

四季折々 2013

■ 四季折々 Mutsu 神戸 季節の便り 2013

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2013

Mutsu. Nakanishi Home Page

<http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

2014. 1. 1.

 **Stay Young Day!!** 今できることを 精一杯
お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう
今 元気にいらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一日を笑顔で すこせたら
苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに 思いをはせています。
忘れまい 忘れないうで 暖かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を 応援しよう!!

何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃、
好奇心と行動力さえあれば……と。

まだ はやい せくな者楽 これからよ

どこにいても「思いはせる仲間」がいるだけでうれしい。

無理せず 体調に気をつけて!!

Mutsu Nakanishi



By Mutsuo Nakanishi

和鉄の道 Monthly page に 掲載記事概要と共に その時節折々 四季折々の花・風景
そして 好奇心一杯でトライしたことや頭にあることなどを綴ったメモなど
新たに Home page に掲載概要を monthly magazine 風にレビューしました

和鉄の道・Iron Road を訪ねて Country walk

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約 800 年の長きにわたってたたら製鉄法の模索が続き、
その技術をさらに磨き高めながら 1500 年続いてきた日本独自の製鉄技術。
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調されるが、一方で文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。
今、急速な社会変革の中で この製鉄にともなう数々のドラマが忘れ去られ、日本各地の「たたら製鉄」遺跡もろとも消え去ろうとしている。
和鉄の道での数多くの人たち・賑わい そして数々のドラマが、周りの美しい景色とともにうもれて残っています。そんな日本で繰り広げられたドラマ そしてその痕跡の風景を少しでも残しておきたいと home page に掲載してきました。



春の妖精
片栗の花

高宮菜穂
「寂しさに耐える」

冷たい風に立ち向かって
身を震わせる愛らしい姿

四季折々 from Kobe 思いつくまま神戸便り

ほぼ毎月更新してきた Home page のトップには その四季折々 私の好きな花・好奇心いっぱいに取り組んだこと・Country walk の風景などを紹介すると共にその折々 頭にあった時代の流れ・技術・社会などへの自分の思いを From Kobe として書き綴って掲載してきました。

home page のトップページは更新ごとに消えてしまうので、その時々を忘れぬよう残しておきたいと「四季折々・From Kobe」として ファイル。

それを毎年一冊の小冊子にまとめています。自分勝手なわがままな思いのメモ書きばかりですが、自分の生きる指針でもありました。

変えられるものを変える勇気と
変えられないものを受け容れる心の静けさと
両者を見分ける教智を

「勇氣」・「冷静」・「知恵」 ニーバーの祈りより

♪ 今できることを 誰一軒 声かけ高い 出来あって
負けないで 忘れないで
細かい希望の輪が繋がっていることを

私がなにを思ってきたか それがいまの私をつくり出している
あなたがなにを思ってきたか それがいまのあなたをそのもの
世界はみんなのここらで決まる 世界はみんなのここらで変わる
吉川龍太郎 「こころの巻」より

仔細質問せず 勇気・冷静・知恵 その壁を突破し感じている時や、
以前より 私の中より スピードを速く感じた日々でした♡♡♡



四季折々【12】2013

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】2013

mutsu2013.pdf

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe【12】2013

kobe2013.pdf

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】2013

mutsu2013.pdf

年賀	1&2月	3月	4月	5月	7月	8月	9月	10月	12月
----	------	----	----	----	----	----	----	-----	-----

■ 四季折々 Monthly page 2013 更新時のtop pageを集めて収録しています。

1. 2013 年年賀 2013.1.1.



鉄のふるさと 奥出雲 出雲神楽「八坂大蛇」より

2. 2013 年 1&2月冬便り 2013. 1.15.

- 1.1月17日 阪神淡路大震災の記念日
- 2.NHKBSBSドラマ「アテルイ
- 3.2012年版「和鉄の道-Iron Road」
- 4.タブレット端末「Nexus7」
- 5.身でスーダンの製鉄遺跡を調査する若き考古学者 関広さん
- 6.秋焼田中講平さんの陶芸作品集のご紹介

3. 2013 年 早春 3月 2013.3.5.

- 【2013年 早春3月の便り 2013.3.5.】
- 1.「春はもうそこまで」毎年確定申告で始まる須磨の春
 - 2. 早春の「比叡山さくら坂ドライブ
 - 3. 2012年版「和鉄の道-Iron Road」電子ブック
 - 4. タブレット 端末「Nexus7」その後
 - 5. 山口鉄塚の田中講平さん、3月末戸のイベントに出店
 - 6. 今月のhome page 更新記事

4. 2013 年 春 4月 2013.4.5.

- 【2013年 4月 春便り 2013.4.5.】
- 1.4月 山・里・街そして人も一気に春色に
 - 2. 復活日・イースター 今の思いを
 - 3. 春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました
 - 4. パソコンウイルスにご注意を 孫から泣声で緊急SQ
 - 5. 今月のhome page 更新記事

5. 2013 年 新緑 5月 2013.5.15.

- 【5月 新緑の季節便り 2013.5.15.】
- 1. 新緑に包まれた野山の春景色
 - 2. 念願の「屋久島縄」文材に出会えた
 - 3. 砂鉄浜・たたら島 種子島へも
 - 4. こんな 比叡山の姿 知っていますか
 - 5. yahooブログ《きーちゃんのお庭》
 - 6. 今月のhome page 更新記事

6. 2013 年初夏 7月 2013.7.5.

- 【7月 初夏便り 2013.7.5.】
- 1. 初夏月 「へいわって すてきだね」
 - 2. カタクリの美と種
 - 3. 新しい鉄の顔
 - 4. 「発掘された2本列島2013」展
 - 5. ラグビー 今年も面白くなる
 - 6. 今月のhome page 更新記事

7. 2013 年 ひまわりの夏 8月 2013.8.5.

- 【8月 夏便り 2013.8.5.】
- 1. ひまわりの夏8月
 - 2. 夏の高校野球は 若き日の良き思い出
 - 3. ユリ園の知恵にひっくり 初夏スキー場ゲレンデそのものに 一面満開のユリ
 - 4. 今月のhome page 更新記事

8. 2013 年 深かまる秋 10月 2013.10.15.

- 【10月・秋の便り】 2013.10.15.
- 1. 深まり行く秋
 - 2. ふるさとの祭は 街の同窓会 ふるさと 尾崎のたんじり
 - 3. 私の産業遺産 工場構内を走り回る軌条を垣間見る
 - 4. 阿蘇カルデラ内南側の谷「南郷谷」
 - 5. 今月のhome page 更新記事

9. 2013 年 師走 12月 2013.12.5.

- 【12月の便り】 2013.12.5.
- 1. 晩秋と初冬が入り混じる師走
 - 2. 早朝練習 吐く息も真っ白に
 - 3. 神戸の猪 丸々と太った猪に出会いました
 - 4. 冬のラグビーシーズンの再開は 今年も冬の楽しみに
 - 5. 思わぬ出会いが楽しみに
 - 6. 今月のhome page 更新記事

■ 四季折々 Mutsu 神戸便り 2013 のpageへ

■ 神戸で 思いつくまま 2013 の page

Stay Young Day!! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちにもいつも 思いをはせています。

忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 困難の中に居られる方々を 応援しよう!!

2013 From Kobe 目次

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に
《21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形》 | fkobe1301.pdf |
| 2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5.
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅 | fkobe1303.pdf |
| 3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です | fkobe1304.pdf |
| 4. From Kobe 2013年5月 5月 新緑の季節便り
1. 春景色 From Kobe 2. 屋久島・種子島の不思議な島を結ぶ線で作った断面図で眺める | fkobe1305.pdf |
| 5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか・・・とも | fkobe1307.pdf |
| 6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」
「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」 | fkobe1308.pdf |
| 7. From Kobe 2013年9月
藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
今日本で一番求められている地域を元気にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践 | fkobe1309.pdf |
| 8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5「解雇のできる特区」の記事を読んで
「天声人語」氏の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり | fkobe1310.pdf |
| 9. From Kobe 2013年12月 師走 あっというまの1年 古希を迎えて | fkobe1312.pdf |

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。
「でも 今 それが必要では???」とついついやってしまう。心せねばと思っています。

《 なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉 》

《あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉》

- ◆ フィールド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る
- ◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止 そして(対策突破の) 歯止め

ニーバーの祈り「勇気・冷静・知恵」

変えられるものを 変える勇気と

変えられないものを 受け容れる心の静けさと

両者を見分ける観智を

一は 1日一回 じっくり考える、
十は 1日十回 腹から笑う、
百は 1日百回 深呼吸、
千は 1日千字 書く、
万は 1日万歩 歩く

四季折々【12】2013

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】2013

mutsu2013.pdf

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe【12】2013

kobe2013.pdf

Stay Young Day!! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちにもいつも 思いをはせています。

忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 困難の中に居られる方々を 応援しよう!

From Kobe 2013 思いつくまま

神戸で 思いつくまま From Kobe【12】2013

kobe2013.pdf

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に
《21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形》》
fkobe1301.pdf
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5.
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅
fkobe1303.pdf
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です
fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月 5月 新緑の季節便り
fkobe1305.pdf
1. 春景色 From Kobe 2. 屋久島・種子島の不思議な島を結ぶ線で作った断面図で眺める
5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京
fkobe1307.pdf
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか・・・とも
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」
fkobe1308.pdf
「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」
7. From Kobe 2013年9月
fkobe1309.pdf
藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
今日本で一番求められている地域を元気にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5「解雇のできる特区」の記事を読んで
fkobe1310.pdf
「天声人語」氏 の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり
9. From Kobe 2013年12月 師走 あっというまの1年 古希を迎えて
fkobe1312.pdf

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。
「でも 今 それが必要では???」とついついやってしまう。心せねばと思っています。

《 なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉 》

《あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉》

- ◆ フィールド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る
- ◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止
そして(対策突破の)歯止め

変えられるものを 変える勇気と
変えられないものを 受け容れる心の静けさと
両者を見分ける観智を

一は | 日一回 じっくり考える、
十は | 日十回 腹から笑う、
百は | 日百回 深呼吸、
千は | 日千歩 書く、
万は | 日万歩 歩く



鉄のふるさと 真出雲 出雲神楽「八岐大蛇」より

干支菓
愛蔵のハツ横

Stay Young Day !!

お互い笑顔で 前向き思考
元気で乗り切って生きましょう
本年もよろしくお祈りします

2013年1月
By Mutsu Nakanishi

《いつまでも若くいるコツ》 by ジョージ カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者任せましょう。そのために医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと 愚痴しか言わない人といると、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハム無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょう
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 涙も出るでしょう。しかし一生涯付き合ってくれるのは、自分自身です。命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう 家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもいいですから好きなものに囲まれて暮らしましょう。家は自分の居心地の良い場所なのですから。
8. 体を大切に！今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょう

そして忘れてはいけない事 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。充実した毎日を生きましょう!!

支持基盤を失った民主党政権が倒れ、自民政権が復活し、数多くの期待を持って 新年を迎えました。

3年前に社会の変革の夢を託して選択した民主党政権。

現実には厳しく、不景気・雇用不安が増大する中、大震災・原発事故の未曾有の社会ダメージに何一つ決められぬ拙な政治にますます閉塞感 社会格差の拡大も著しく、「こんなはずではなかったのに」の思いが社会全体に蔓延。気がついてみると

「アジア随一の経済大国・貿易立国の自信もはるか遠くに消え去り、
中国・韓国ばかりでなく東南アジアの国々にも 置いてゆかれる」と。

この未来への希望よりも現実の不安感と閉塞感が社会を覆う中、
一気にまた、「変革と前進」への期待が自民政権を復活させた。

でも「昔は良かった」では困るのである。 この社会全体を覆う閉塞・不安感を一掃する明るい社会の実現を望む。このためには、自民政権が以前進めてきた「東京一極集中」「国際競争 グローバル化・効率化に名を借りたあまりにも過酷な弱肉強食 競争社会の出現」の政策をそのまま 進めてもらっては困るのである。

「企業・金融一辺倒の国際貿易立国からの脱皮 東京一極から出し、地方多極拠点・産業の育成」
「格差拡大を食い止め、若い中間層の拡大」等々 この厳しい閉塞感の中で出てきた数々の提言に耳を傾け、社会全体が納得する新しい変革のアプローチの中で「日本再生・日本復活」を成し遂げてもらいたいとの思いが強い。

かつての団塊の世代としてすごした青年時代「することなすことなにもかもが 手本もなく新しいことで、夢中で立ち向かった躍動」の時代 そんな思いを 今の若者にも託したい。

《 21世紀にふさわしいエンジニア 米オーリン工科大学の取り組み
「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」 》



朝日新聞 2012年12月21日金曜日「教育」欄 記事より

原発の破壊事故に未曾有の東日本大震災になすすべもなく破壊された巨大建造物 そして、高度成長期を支えた社会インフラ道路・橋・トンネルなどの構造物が寿命を迎えつつあり、数々の維持保守不良の問題を起こして社会問題化している。これらの建造・技術に多少ともかかわってきた「団塊の世代のエンジニア・技術屋」にとっては

それこそ「自分の生き様」。
でも今「多少とも 後ろめたさ」を感じつつ、「今後 技術屋はどうすればよいのか」の迷いがある。
一方、これらの迷いを反映するかのように「大学の理系 特に『工学部』を志望する若者が減っている」と聞く。

昨年12月21日の朝日新聞「教育」欄に21世紀にふさわしいエンジニア像とその教育について掲載されていました。

「21世紀のエンジニア教育には『工学と社会とのかかわりと理解』が不可欠。大学の工学教育は、産学官協同を唱えるばかりでなく、社会とダイレクトにかかわって 実践していくエンジニアの育成へと変革してゆかねばならぬ」とこの記事を読みました。

米オーリン工大の取組「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」。ここにも社会への「心くばり」が21世紀のエンジニアに必須と記されていました。



団塊世代の私には なかった21世紀のエンジニア像。 ご参考になれば。

老化が日に日に迫り来る世代 でも そこに仲間がいる
お互い笑顔で前向き思考 元気で乗り切って生きましよう
本年もよろしくお祈いします

教育

社会をデザインする工学

創設10年 米オースリン工科大

10年前にできたばかりの小さな大学が注目を得ている。米マサチューセッツ州のオースリン工科大は、知る人ぞ知る大学だ。21世紀にふさわしいエンジニアの育成をめざす独自の教育は、この数十年で最も野心的な工学教育の発展へと変遷され、世界中から視察客が相次いでいる。

「1つ1つよい社会を築くため、人や社会のニーズを知り、その解決策を構築し、創造的なビジネスモデルを構築される最新の人材を育成する」。オースリン工科大が掲げる使命だ。単にすぐれた技術者ではなく、技術を通じて社会を変えていくような人材を育てようとしているのだ。

技術だけでは

必要とされるのは3つの要素。「技術」、人や社会を深く理解してニーズを知るための「芸術」、人文社会科学。そして、解決策を社会で実現するために必要な「ビジネスや起業家精神」。それを直訳したのが「オースリンの三角形」だ。



オースリン工科大の前身は、高専教育への支援をしてきたオースリン財団だ。科学の応用が中心で、産業から遠い従来の工学教育への不満から、財団は新大を創



「学ぶ情熱がきたてる」鈴木メソッドがヒント
リチャード・ミニロー学長に聞く

オースリン工科大の教育の大きな特徴は、学生に自ら学び、自ら関心を持って自ら学ぶようになることだ。その鍵は「メソッド」にある。メソッドとは、日本の「授業」や「講義」に代わる、学生が自ら学ぶためのツールだ。メソッドとは、学生が自ら学ぶためのツールだ。メソッドとは、学生が自ら学ぶためのツールだ。

芸術・ビジネスと3本柱 ■まず手を動かす



スティーブの授業風景。教員は、学生5人に対して1人の割合で、米マサチューセッツ州のオースリン工科大

設を志向した。

「大学の文化は簡単には変わらない。ゼロからつくっていくしかない」ということになった」とリチャード・ミニロー学長は振り返る。1997年にオースリン工科大学が設立された。数人で大学の構想を練った。翌年の開校以来、学長を務める。財団は、毎年千ドルをそつくり新しい大学に寄付して解散した。

学生は1学年約80人、工学部には約40人、女子学生が約60%を占める。3つのコースがあるが、学部に分かれてはいない。カリキュラムは、コデザイン力、つまり新しいものを作り上げる能力をいかに身につけるかが重視して追求されている。

「まずやってみる。それから学ぶ」という。多くの大学では、過去のテーマを研究し、

チーム力養う

チームで行うプロジェクトへの参加も必須だ。分野の人と協力する力を養うため、1年生のうちから新しい物を作ったり、町の新しいアイデアを競い合ったりして問題を解決したり、さまざまなプロジェクトに参加する。教員もチームで指導する。その仕上げは、4年生が数人でチームを組み、1年がかりでとりくむ「スタートアップ」と呼ばれるプロジェクトだ。スタートアップは、企業が提案した課題に取り組み、すべて自分たち自身で解決してものを発表する。教員も参加するが、役はあくまでも学生が、過去のテーマを研究し、

「個々に見れば、日本の大学ですでに取り組んでいるものもある。だが、デザイン志向や参加型の授業が、これまで全科目で徹底されているところはないだろう」と小林信一・筑波大教授はいう。

「個々に見れば、日本の大学ですでに取り組んでいるものもある。だが、デザイン志向や参加型の授業が、これまで全科目で徹底されているところはないだろう」と小林信一・筑波大教授はいう。

「個々に見れば、日本の大学ですでに取り組んでいるものもある。だが、デザイン志向や参加型の授業が、これまで全科目で徹底されているところはないだろう」と小林信一・筑波大教授はいう。

「学ぶ情熱がきたてる」鈴木メソッドがヒント
リチャード・ミニロー学長に聞く

「学ぶ情熱がきたてる」鈴木メソッドがヒント
リチャード・ミニロー学長に聞く

阪神電車尼崎駅では停車中の電車の中を通り抜けてホームを変更できる!!

しかも走る電車の中では「電車の中を通り抜けて」とアナウンスが流れる



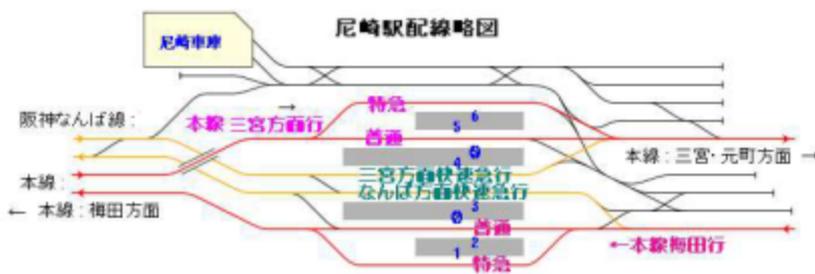
神戸から大阪へ向かう阪神電車に乗っていて うつらうつらしながら、尼崎駅が近づくと
 「 尼崎駅で梅田行の特急にお乗換えの方は 同じホーム反対側に停車中の普通電車の中を通りぬけて、隣ホーム反対側に来る特急に御乗換えください 」とのアナウンスが流れる。
 「 ええっ 電車の中 通り抜けての電車の乗り換えは 公式的なんや・・・」と。

電車の乗換えで隣のホームへ行くには、電車を下りて、ホームの端へ歩いて、階段を降りて 地下道を潜り抜けてまた、階段を登る。延々と歩いてホームを移るのは本当に大変。

阪急電車十三駅など一番東側京都線のホームから一番西の神戸線のホームまで 延々この作業をせねばならぬ。

其の点 梅田へ向かう本線となんば・奈良へ向かうなんばせんの方岐駅「阪神尼崎駅」では 停車している普通電車内を横切って、平面で隣のホームに渡れるのです。

阪神なんば線と本線との乗り換え（本線特急と難波線快速急行）は上下線とも、先にホームへ入って停車する普通電車の車内を通りぬけてホームを変更できる電車運行ダイヤが組まれている。。



ホーム	路線	方向	行先
6	■本線	下り	甲子園 神戸(三宮・明石・姫路)方面 (梅田方面からの列車)
5	■本線	上り	甲子園 神戸(三宮・明石・姫路)方面 (梅田方面からの列車 阪神なんば線からのホーム上乗換可)
4	■本線	上り	甲子園 神戸(三宮・明石・姫路)方面 (奈良・難波方面からの快速急行)
3	■阪神なんば線	-	西九条・ドーム前・難波・奈良・名古屋・伊勢志摩方面
2	■本線	上り	野田 大塚(梅田) 方面 (阪神なんば線へのホーム上乗換可)
1	■本線	上り	野田 大塚(梅田) 方面



阪神尼崎駅



なんば線快速急行→本線普通電車→本線特急 の乗り換え

実この乗り換えは「阪神電車に乗りなれた人達だけに許された楽しみ」と思っていたのですが、おおっぴらにやっていたのだ。

ターミナル駅で電車両側のトビラが開くと、降車ホームの人ごみを嫌って乗車側に降りると、何か後ろめたく感じ、この阪神尼崎駅の乗り換えも非公式と思っていたのですが.....

考えてみれば、電車の中を通り抜ければ、一番便利で誰もが喜ぶホーム変更の手段である。

阪神電車といえば、あの甲子園5万近くの観衆を試合終了後、押し寄せる乗客をわずか1時間ちょっとで 大阪・神戸へ運ぶすごく難しい「電車運行技術」を持っている。 また、次の駅が見えるほどの短い駅間隔を持ち、

駅数の多さでも知られる路線なのですが、各駅停車の普通電車に日本で一番早く加速するジェットカーを開発して、走っている。(昔TVで このジェットカーとコカール君が100m競争する画像がありました)

阪急電車のスマートさはありませんが、阪神間の一番海岸側の下町を走るほかとは一寸違う電車。

もう何十年、阪神間や大阪に行く時には 遅いのですが、やっぱり親しみのある阪神電車に足が向く。



このローカルな「阪神電車の電車の中を通り抜けてホームを変更する」手段は「情報通の『鉄っちゃん』でも知らぬだろう」と思ったのですが、インターネットで「阪神電車 尼崎 車内を通して乗り換え」と入れて検索すると既に 動画からアナウンスまでありました。脱帽です。 よく調べてみると近鉄・南海電車でも一部あるようです。

こんなうまい電車乗り換えの方法 電車の運行技術が優れた阪神ならではとちがうでしょうか.....

負け惜しみですが、『車内を通り抜けるホーム変更を大々的に堂々と出来るのは阪神だけや』と今も思っています。

地道ですが、長年培ってきた鉄道の運行技術の蓄積が光っています。 こんなところにも『鉄』がある。「鉄っちゃん」へ。 機会があれば 是非一度トライを!! また、車内のアナウンスにも耳をかたむけて。

最近あまりうれしい話題のない私の故郷「鉄の街 尼崎」の話題です。

今年は タイガース どうでしょうか..... これも今 早春尼崎 巷での挨拶代わり。

いよいよ 春到来 待ち遠しいこの頃です。

2013. 2. 27. from Kobe by Mutsu Nakanishi

【 参考 停車中の普通電車内を通して 隣のホームへ インターネット検索 】

インターネットで

「阪神尼崎駅 なんば線快速急行から各駅停車電車内を通して本線特急へ 乗り換え」等検索

たとえば

◎ <http://kobekan.blog95.fc2.com/blog-entry-809.html>

◎ [http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%BC%E5%B4%8E%E9%A7%85_\(%E9%98%AA%E7%A5%9E\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%BC%E5%B4%8E%E9%A7%85_(%E9%98%AA%E7%A5%9E))

3.

新年度に向けて また ぶつぶつ です 3月31日イースターの日に



アーモンドの花 花言葉は「希望」「真心の愛」「永久の優しさ」
 今年こそ みな分かち合える 明るい平和な年 になってほしいものです
 3月31日は「復活日・イースター」思いは同じ
 は かり知れない神の愛 共に生かされている私たち
 自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球の人たちに思いを……

「信仰と希望と愛、この三つはいつまでも残る

その中で最も大いなるものは愛である」

愛は愛する者のために自分を犠牲にします。」

真実の徹底的な愛は自分の命を愛する者のために捨てます

ゴリートの第1の手紙「愛の賛歌」より



◎ 4月になって 神戸でも桜が咲いて、街に数多くの人々が繰り出して、華やか。

この華やかさが好きなこの頃です。

でも、東京では 桜の話題はもう 1週間も前。

TVのニュースショーのはしゃぎぶりも もう東京では過去のものに……。

でも 関西よりも 緯度の高い東京で桜が1週間以上も早く咲く。なぜ……

この異常さにみんな眼がをむけないのでしょうか……

人口集中と都市化によるヒートアイランド化がここまで進行している異常さには

無神経でいられない。

次から次へ頭の上を刹那的に飛び越えてゆく。これで本当に良いのだろうか……

「東京に更に投資を呼び込んで、東京が元気になったら、それが地方に波及する」

そんな旧態依然の政治・ビジネスモデルを振りかざすこっけいさに啞然としているの
 ですが、どうでしょう。

今 東京は分散化へ向かわないと大変なことになると心配するのですが……。

既にあの東日本大震災にあふれ出た都市難民そして 脆弱な都市構造。

防災都市化への道が急務な時に また、東京オリンピックだという。

それも 東日本大震災からの復興記念だという。とってつけたような東京の我流。

異常が異常にみえぬ都市集中の中 さらに東京に投資してどうするのでしょうか……

かつて、「選択と集中」といい続けて、周辺を切り捨て、一極集中を進めた結果、さんさんたる荒廃の企業群を生んだ二の舞に
 ならねば……とっている。



左から右へ顔を動かすと「娘さん」
 に見えたり、「婆さん」に

だまし絵

しっかりとした眼を養わねば

◎ 先日見ていたTVドラマの中で

「**真実も正義も その立つ位置がかわれば、変わるのだ。絶対の真実や正義などありえないのだ**」と傲慢に言い放ち、豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら **立つ位置 初めにみんなにみせろ**」と言ってみるのですが…… 実に印象的でした。

最近の世相をみていると どこもかしこも こんな構図がひしめいているのではないかと……と。

立つ位置をあいまいにして、変わり身の早さを信条に「**選択と集中 スピード経営**」を旗印の即物的な収益・マネーゲームに終始するビジネスモデルが主流の昨今 本当にこれでやっていけるのだろうか……と。

「**急激に大きくなった会社はやっぱり 急激に衰える。その点 百年企業は急激な収益増は出さないが、もし、衰えるとしても百年かかる。そんな会社にはスピードを追わぬしっかりした百年理念が流れている どちらのビジネスモデルにしがみつつか 企業の度量が問われる**」とよく聞いたことがある。

その時には、「**負け惜しみの美学か……**」などと自嘲気味になっていましたが、その後の時代の流れが、**真実を証明しているか**に見える。

そんな時代 自戒の絵として、下に示す「**騙し絵**」をよく「**某半導体メーカーの若い技術屋と見ていたなあ……**」と。

自分には **娘さん**に見えるのに **相手は婆さん**と見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあること これをよく頭に刻んでおかねばならぬ。真実を見間違ふ認識のズレ これを知っていて操るやからが多くなっている昨今 以前にもまして **じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代** 自分の立つ位置をしっかりとせねば……と思う。

この絵 どう見えお村でしょうか……



おばあさん??? 美しい美女???? さあ どうでしょうか……

「**娘さん**」に見えたり、「**婆さん**」に見えたり **自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵**

四月 新年度 若者が多数 新しい出発をする中 集中・中央ばかりに眼を向けず、分散・地方にも眼を向けてもらいたい。まだ、その糸口さえよう見つけぬ私ですが、それが弱者切捨てからの社会変化への糸口にならないか……。そんな思いを込めて、昔からよく知る騙し絵を新しく出発する若者たちへ送りたい。

先日 TV を見ているとヨーロッパで活躍するサッカー全日本の選手が

「**今は自分でゴールに迫るより、パスしてほかの仲間を生かした時の方が嬉しい。**

常に自分を励まし、鼓舞してやってき行く姿勢はかわらぬが、自分の中で大きな変化が生じている」

と語るのを聞いた。

厳しいヨーロッパ サッカーで、ゴールに猛進する姿を見せつけながら 自分の道を切り開いてきた彼には意外な言葉。彼の言う今の考えが主流になってくれれば……と 今後の活躍に期待したい。

【 From Kobe 2013.年 5 月 新緑の季節便り 】

1. 春景色 From Kobe
 【 庭の草花も今が盛り 百花繚乱 うれしい春の庭に 2013.5.1. 】

2. 歴史島・種子島の不思議を 島を結ぶ線で作った断面図で 眺める
 歴史島・種子島理解のために

【 From Kobe 2013 年 5 月 新緑の季節便り 】

5月の大型連休も終わってひととき いかがでしょう
 さわやかな5月の風かふきわたり、野山は新緑につつまれ、庭先にも春の草花が満開
 毎日毎日変化してゆく春景色に目を奪われる毎日この自然の息吹・エネルギーを貰って リフレッシュせねば・・・

2013.5.15. from kobe Mutsu Nakanishi

1. 春景色 From Kobe 【 庭の草花も今が盛り 百花繚乱 うれしい春の庭に 2013.5.1. 】

桜草が終わった庭に バラにクレマチス ジャスミン アグロステンマ ポピーにすずらんも咲いて
 家の角先では ツタンカーメンの豆の収穫 そして黄色や真っ赤なポピーに背の高いピンクのアグロステンマ
 毎年の春景色ですが、庭が一番華やぐ時 我が家自慢の景色です



バラ



クレマチス



ジャスミン



アグロステンマ



ポピー



すずらん



◎ **新緑の緑の林の中で咲く ミツバツツジ**

淡い緑に包まれた林の中で、春の日差しを受けて 小さなピンクの花を枝にける 緑の中でのピンクのコントラストが素晴らしい。
桜やシャクナゲ そして春の草花に目を奪われて ついつい忘れていますが、私の好きな素晴らしい春景色のひとつです。



須磨 旗振り山で 2013.4.9.

◎ **名前を知らないのですが、樹木や草木の移り変わる春景色**



◎ **今年のカタクリの花**

ことしも心待ちにしていた春を告げる妖精「カタクリの花」 花を咲かすまでに成長するのに約8年
花が咲き始めたと聞いて 雌岡山の群生地に高校時代の仲間を案内して一緒に出会ってきました。

地球氷河期の生き残り 日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせる姿に いつも心を揺さぶられる
おもわず「ガンバレヨ！」と声をかけたいくなる



**春を告げる妖精
「カタクリの花」**

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
日陰の山腹の斜面で
冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に心を揺さぶられる

2013. 4. 10.

西神戸 雌岡山で

2. 屋久島・種子島の不思議を 島を結ぶ線で作った断面図で 眺める 屋久島・種子島理解のために

屋久島・種子島から帰って まだ 屋久島ボケですが、屋久島・種子島理解のため作成した断面図
屋久島と種子島 隣り合う二つの島がこんなにも 地形・地質が違うのか……

これが判らないと 屋久杉の謎も砂鉄の謎も解けない

4月13日から16日まで、屋久島へ行って、帰りに種子島へ立ち寄って帰ってきました。

屋久島の世界遺産地域にある縄文の森 縄文杉にも出会えました。本当にただただすごい杉。

屋久島の森で過ごした4日 体験したことのない深い森 縄文の森に感激でした。

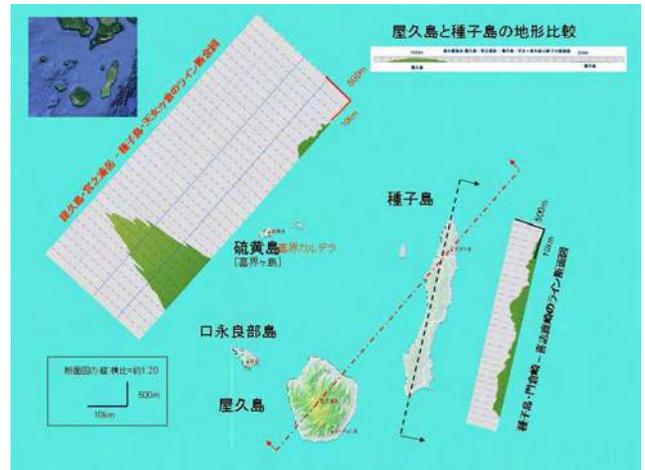
また、島の海岸いたるところで砂鉄がみられる種子島にも立ち寄って、砂鉄浜を歩いてきました。

このふたつの島は約7000年前日本全体を火山灰で覆い大気候変動と幾多の動植物の生態系を破壊した「アカホヤ噴火」をおこした大海底火山喜界カルデラにすぐ隣接する地なぜ こうも違うのか……

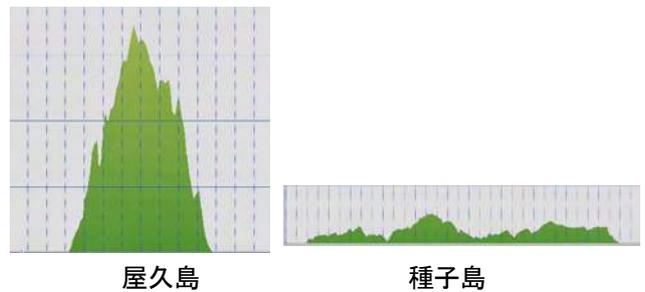
屋久島を案内してくれたガイドさんたちや種子島の博物館でも話を聞き、また、実際に島を歩いて、理由はわかるのですが、どうも実感が無い。これはなんだ……と。

屋久島を離れて ジェット船で種子島へ行く途中 海面すれすれにしか見えてこない平坦な種子島に対して、海岸から立ち上がる屋久島の山々。 といえば「屋久島の最高嶺宮之浦岳は島の海岸部のどこからも見られず、海上か飛行機からしかみえない」と何度もききましたが、それがこれか……。 「屋久島も種子島も”じんじょうな??”ではないのだと。

家に帰ったら この好対称の二つの島を結ぶ断面画を作ってながめてみよう。 そうしないと これらの島のすごさが見えてこない。



こんなにも島の起伏が違うのだと初めて実感する。屋久島の山は山というより壁 確かに雨を降らす障壁。また、この角度そのまま、海に地形が入っているのだと。川にゴロゴロある巨大な岩も、雨が降ると一気に数m水位があがるというのもわかる。川に押し流された砂は海岸にとどまれない。



この断面図を見ていると屋久島は火山噴火しなかったが、噴火寸前のマグマの上昇があったのかあわせて、屋久島に住み着くのは大変。相当のかくごがいるなあ……と。種子島が都会に見えてくるのも理解。最近「現場主義だ 現地へ行って来た」などと自慢する話をよく耳にするが、この断面図は見る視点がなければ何も見えないことを教えてくれる。先月のだまし絵と同じ。屋久島・種子島は魅力一杯の不思議な島なんだと。今月掲載した「屋久島・種子島」の数多い写真 こんな目でも見ていただければ ありがたいです。



6月15日 東京千駄ヶ谷のビルで会合があって、久しぶりに東京へ出かけました。

以前と比べ その人の多さが又増えたことにびっくり。

千駄ヶ谷の国立競技場脇のビルの階上から見る風景はもうアメリカの都市と言っても変わらぬビルと高速道路群。地下も地下鉄網に通信ケーブル・大規模排水溝などなどでもう超過密。地下40m近くを走る地下鉄大江戸線など「どこまでエスカレーターで下ろすのや」というほど深く、地下鉄で隣の駅へ行くより、徒歩で行った方が早いという笑い話もあるという。どこもかしこも人であふれる超過密。

「これ以上 東京に集中投資して どうすんねん」と・・・・・・・・。

夕暮れのビル群を見ながらそんなことを考えていました。

今 アベノミックスで景気が上向きと安部さんはじめ みんなが浮かれています。

公共投資を増やし、日銀は市場に大量の金を流通させ、東日本復興だ。輸出競争力だ。東京オリンピックだと。

でも 藪にらみ的にみると中央都市機能・金融・大企業とすべて東京に金を集中させ、「東京が元気になれば、そのうち 国民ひとりひとりまでまわってゆく」との古い図式。

でも東京・中央がすべてを吸い上げる今 そんな風にはならぬ。

ちょうど 小泉政権時代の規制緩和政策の悪夢の復活のごとくにみえる。

いまだに非正規雇用で苦しむ人の多い中 今度は年寄りの年金までもが、「優遇措置で投資へ」と促す。

投資しないと物価が上がると元本はめべりすると・・・・。家にいるとこの種の電話 DMがいくつも・・・・・・・・。

セーフティーネットがいたるところで、ずたずたにされる中でこれはない。

近くはアベノミックスでの円安・株高 一般の素人投資家はどうかだったのだろうか・・・・・・・・

また、あの維新人気はどこへいったのか・・・・・・・・ほんの数ヶ月前である。

こんなことを言うと「また 東京の批判」といわれるが、日本の成長を支えた「ものづくり日本」は掛け声だけで、具体性に乏しい。日本では「金融立国を目指し、いまだに大量生産・低コスト指向の大企業」中心主義。雇用創出・雇用安定による景気回復・東日本復興の具現化がいまだに見えない。

具体的な方策は何なのか・・・・・・・・と自問の毎日です。

かつて日本の高度成長をもたらした「物づくり日本」。

その中心にあった「電気」「造船」「鉄鋼」の雇用数は急減。電気産業の雇用数はここ数年で 最盛期の1500万人から1000万人を切っているという。

この間 口では「物づくり大国」を言い続けてきたが、具体的な「物づくり現場」の整備には目を向けず、むしろ現場の合理化にまい進してきたのである。

今の「物づくり現場」にユニークな発想を育て、新技術・新事業を生み出す素地があるだろうか・・・。

「匠」と呼ばれた技能・技術一筋の仲間の存在・数々の試作・思考・異業種や異分野との融合等々具体的なトライそして、それを支えたイズムとよばれた松下「やってみなはれ」ホンダ「見たり・聞いたり・ためしたり」等々の指向の中にこそ「物づくり」の技術が見えてくる。かつて無駄として「ものづくり現場」からそぎ落とされてしまったものばかりである。

虚業・大量生産指向の合理主義の中からは「ものづくり日本」の復権はありえない。

今の東京中心の諸施策 言い換えると「金融・大企業中心」の施策で、雇用不安から脱却し、景気回復・東日本復興が進むとは思えない。今一番 必要なのは オリンピック・マネーゲームへの参加ではなく、一刻も早くも日本各地の「物づくり現場」の支援・復活ではないか・・・。

今はインターネット時代で 誰もが手軽に情報が手に入る情報過多の時代。噂話とその真偽はともかく行動連鎖を生んでゆく時代。 本当に大事なものが、簡単に切り捨てられて、「みんながそうだ。乗り遅れるな」と迎合する。

いまの世相 便利で助かることも多いのですが、鵜呑みにすると乗せせられ、痛い目にあう。操作された情報がTVにツイッター・フェイスブックにブログにも満ち溢れている。最近明るみにそんなインターネット操作の記事が出ることもあるが、氷山の一角であろう。今度の選挙から、インターネットが、解禁になる。ただでさえ乗せられやすい日本人 留意せねば。



「俺おれ詐欺」に会うのも年寄りだけではない。知らぬ間にインターネット・マスコミ情報に乗せられている。真偽を判断するすべは TV もイッター・フェイスブック そしてブログにも提供してくれない。また、セキュリティソフトのような うそ情報をスクリーニングしてくれるソフトもないのである。

- ◎ ブラジルで「ワールドカップにつぎ込むお金を我々の生活救済に回せ」と大規模なデモが各地で起こっている。この感覚 健全とおもうのですが・・・
- ◎ にこにこ顔で東京オリンピックをPRする顔と語り口 みな同じしゃべり方の演技がTVに流れる。まるで、TVの日頃見る演技者の語り口に見えて仕方がない。東日本では震災復興の具体的な生活基盤・安定雇用につながる事業につながる投資が一向に進まぬのに・・・東京でまたオリンピックやって、大投資をせねばならぬ理由は何か・・・



そんな折に沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君が朗読する

「へいわって すてきだね」の平和メッセージがふっと耳に飛び込んでき

平和メッセージ「へいわって すてきだね」

6月23日 沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君（6）が朗読した「へいわって すてきだね」の詩が胸に響くと今話題になっている。

「へいわって なにかな ぼくはかんがえたよ」

「へいわって なにかな おともだちと なかよし。かぞくが、元気がおであそぶ ねこがわらう なかいっぱい …」

有生君が考えるごく身近な平和。それを一瞬にして悲しみに変えてしまう戦争への恐怖をつづり

「ぼくはへいわなときにうまれてよかったよ。このへいわが、ずっとつづいてほしい」と

口から自然と出てくる言葉で小学1年生らしくぼくとつと平和を訴える言葉が胸にずしりと響いてくる。

演技でない力強さが胸を打つ。沖縄には「命どう宝（ぬちどうたから）」という言葉もある。

ひとに迎合することなく本当に平和を自分のものとして

また、家族・仲間そして 共に暮らす人たちへと考えねば・・・と。

是非 一読を

共同通信 【平和の詩全文】「へいわってすてきだね」 <http://www.47news.jp/47topics/e/242925.php>

23日の沖縄全戦没者追悼式で沖縄県与那国町立久部良小1年、安里有生君（6）朗読の詩全文

youtube “へいわってすてきだね” 久部良小1年 安里有生

<https://www.youtube.com/watch?v=NBonUaHnC-g>

最近では東京・都市圏と地方地域との地域差をごまかす話が多い。 ついでに年寄りもだますなど。

「みんなが言うてる」と迎合していると後の祭り、あとから 悔やんでも……………

そんな状態が起こっている。そろそろ自分で判断するすべを

身につけねばやれぬ時代 明日はわが身である。

そんなことが 頭をよぎった東京でした。

でも 久しぶりに人並みの中に身を置くと

何とはなしにうれしい。

なんとか 先が見通せる日本に早くなってほしいと

願っています。

夜10時を過ぎて

見に行った東京スカイツリーを見上げながら。



2013. 6. 15. 夜 東京の宿で Mutsu Nakanishi



6月15日東京秩父宮 ラグビー国際マッチ 全日本/ウェールズ戦ウェールズに始めて完勝した歓喜の渦の中に加わって

ひまわりの夏の便り



あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

「NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
日本社会全体に言葉とはうらはら 創造性のない時代 異常気象にだまし絵をダブらせて

2013. 8. 1. by Mutsu Nakanishi from Kobe

一枚の絵が眺める人の心理状態によって 幾通りかの絵に見える絵を「だまし絵」といい、何回がこのだまし絵について触れたことがある。「即物的に見た」といっても その見た人の心理状態によって、見えているものの危うさによく注意せねばならぬと。

先日 高校時代の仲間が自分の研究中の「哲学」についての著書を送ってくれたのですが、そんな難しい本など歯がたためだろうなあ・・・と気楽に読みはじめたのですが、面白い。

「哲学」「心」というのは、「本能」といった一面的なものでなく 人が生きてきた過程の中でそれぞれが作り上げたもの。したがって、「日本人の心」・「日本人の哲学」といっても 複層的なものとして捕らえるべきものだ。欧米の人の考え方も同じだ。

このことを頭に入れて思考することが大切と繰り返し数多くの事例を引いて述べられていた。

難しい内容は別にしてあれあれ・・・と。

「哲学って 揺るぎのない真理というか 確固たるひとつのもの」と思っていたのですが、そんなものか。

難しいものと思っていたのですが、案外私たちの身近な考えの中にあると気楽に思えたのは収穫。

また、「だまし絵」の見方と一緒になあ・・・と。

だまし絵をちらつかせての参議院選挙が終わって、自民党の圧勝。 また、政治の向かう価値観の急転が心配になる。小泉内閣の規制緩和・国際競争・グローバル化で一般庶民を窮地に追いやった人たちが、ブレーンとして復権し、 声高にアベノミックスを叫んでいるのにはもう沢山だと。

「だまし絵」を知っていて「見抜けなかった」と価値観を転換させた言い訳 言い逃れの隠れ蓑として、あまりにも多い「想定外」「経験したことがない」との勝手な納得。

これで物事を済ませてしまう風潮を作り出した人たちでないか・・・。

言葉の遊びで切り抜けてしまう創造力の欠如が、数を頼み、「スピードだ グローバルだ」と押し進んでゆく。

そんな累々とした失敗が、ここ数十年続き、ものづくり日本の遺産も働きもので勤勉な日本人の特質も見失い、格差の小さい社会もはや過去のものになってしまって、そこには理念も信念もないセツナに縛られた弱肉強食の競争社会まっしぐらである。だまし討ちに会わぬ創造的な社会形成が今ほど必要なときはない。

「想定外や経験したことがないのは異常気象だけでない」

社会みんなが、そんな言葉で思考を停止していると思える最近の社会状況。

親方日の丸・グローバルな大企業や銀行・金融がわれわれの生活を守ってくれるのだろうか・・・。

きっちりとしたプログラムを打ちたてて創造的な展開を進めない日本は益々おかしくなるのではないか・・・

もう楽観的には見ておれぬところでのアベノミックス。「明日はわが身」が迫り来る。

「だまし絵」発想を打ち破らねば・・・。 さしずめ、それを見抜かねば・・・と。

そんなおり、7月16日早朝 NHKラジオ 朝一番 ビジネス展望 『働き方の多様化とは何か』

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に 私には一番すっと入ってくる話であるになるほどと。

◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化 「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う

◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。

「日本ではこれが、ごっちゃにされて 都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。

同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバル スタンドアードが 非正規雇用を増やすことだとの錯覚を

日本では植えつけられているが、けっしてそんなことはない 」と欧米の具体的な事例をひいて言う。

◎ 例えば、『オランダモデル』の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。

均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

まさにだまし絵のなぞ解き いつもながら 私には一番納得できる筋道である。

今や 技術力・ものづくりが群を抜いているなど幻想に過ぎなくなっている日本。

創造力のない目先だけの金融中心の効率・大量生産・使い捨て経営が日本の物づくり現場を打ち壊してきたのはもう否定できない事実である。もっとほかにやる道はなかったかと自答するのですが・・・

アベノミックスもまたぞろ そんな反省もないグループの復権に見えて仕方がないのは私だけか??。

皆さんにはどう見えているでしょうか・・・いずれにせよ、東京中心主義を脱却して 落ち着いた世に早くなってほしいものです。

参考1 昨年10月に全国を対象に実施された『今、日本人はどのような環境で働いているのか』調査ではパート・派遣などの非正規で働く人の数が、2043万人と、初めて2000万人を突破し、雇用全体に占める割合も38.2%、つまりほぼ4割程度に達していると聴く。

◎ 20年前に比べると、非正規で働く人の数は、ほぼ2倍にまで増えている。

◎ 正社員だった人が転職するとその内40%以上が非正規で働かざるを得なくなっている。

◎ 25歳～34歳の若者層では、3人に1人以上の人が非正社員である。

高校や大学を卒業する時の厳しい就職環境を引きずったまま、働き続けざるを得ない。

こんな状況で雇用不安を感じない人たちが・・・どんなグループだろうか・・・

政党公約だった非正規雇用をなくす方向は今やどこかで消えてしまっている。これもだまし絵だったのか・・・

「心の病 会社員 2割増」「心の病におびえて働く」

2013年8月22日朝日新聞 大阪朝刊 1面 & 3面記事より

2013年 平成25年
8月22日
木曜日

朝日新聞

経済面 7面
国際面 8面
スポーツ面 17-18, 20, 21面
教育面 14-15面
読者サービス面 22面
朝日新聞大阪本社
〒540-0031 大阪市東区
電話 06-6202-1111

95分 全国高校野球 16-18.30面

前橋 育英 4-1日 大山 彰
(若手) (山形) 巻 東
延岡 学園 2-0花 (若手) (宮崎)

心の病 会社員 2割増

「雇用不安」との指摘

サラリーマンの心の病の受診件数が増えている。健康保険組合では、受診者が2011年度までの3年間で2割増えた。仕事のストレスが原因となる病気が大半。08年のリーマン・ショック後の景気低迷で、企業のリストラが進み、雇用不安が広がったとの指摘が出ている。▼3面におびえて働く

年度	受診件数
08年度	4604
09年度	4982
10年度	4991

心の病による受診件数は、リーマン・ショックのあった08年度は1千人あたり延べ235件だったが、3年後の11年度は同280件と19%増。心の病以外の病気が8割超を占める。世代別では40代が33%と最多で、30代も3割を超えている。20代と50代は10%台と少なく、働き盛りの年代で受診の多さが目立つ。一方、中小企業の社員約2千万人が入る「協会けんぽ」加入者1千人あたりの受診件数も、比較できる09年度と比べ9%多かった。健保組合の方が増えた割合が大きいのは、中小より大企業の方が受診をうながす態勢が整っているためとみられる。

精神障害による労災認定の件数は、10年度以降年間300件を超す高水準。関西大の森岡孝二教授「企業社会論は「リーマン」後、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がった。人が減るなかで多くの働き手が長時間働き、過労とストレスが高まっている」とみている。(牧内昇平)

(上記新聞記事の判読できる大きさへの拡大版を下に掲載しています)

***** 「心の病 会社員 2割増」 *****

「雇用不安」との指摘

厚生労働省がまとめた医療保険の利用状況調査が、働き手本人が心の病で通院や入院した件数をもとに、朝日新聞が推計した。方法になった08年度以降に、朝日新聞が推計した。を対象とした。

厚生労働省がまとめた医療保険の利用状況調査が、働き手本人が心の病で通院や入院した件数をもとに、朝日新聞が推計した。方法を対象とした。

心の病 会社員 2割増

リーマン後3年 本社推計

心の病にかかるサラリーマンが増えている。大企業の社員約1600万人が入る健康保険組合では、受診者が2011年度までの3年間で2割増えた。仕事のストレスが原因となる病気が大半。08年のリーマン・ショック後の景気低迷で、企業のリストラが進み、雇用不安が広がったとの指摘が出ている。▼3面におびえて働く

サラリーマンの心の病の受診件数が増えている。健康保険組合に加入する働き手本人の、1千人あたりの延べ受診件数の合計。厚生労働省の「医療給付支態調査」をもとに推計

年度	受診件数
08年度	4604
09年度	4982
10年度	4991

心の病による受診件数は、リーマン・ショックのあった08年度は1千人あたり延べ235件だったが、3年後の11年度は同280件と19%増。心の病以外の病気が8割超を占める。世代別では40代が33%と最多で、30代も3割を超えている。20代と50代は10%台と少なく、働き盛りの年代で受診の多さが目立つ。一方、中小企業の社員約2千万人が入る「協会けんぽ」加入者1千人あたりの受診件数も、比較できる09年度と比べ9%多かった。健保組合の方が増えた割合が大きいのは、中小より大企業の方が受診をうながす態勢が整っているためとみられる。

精神障害による労災認定の件数は、10年度以降年間300件を超す高水準。関西大の森岡孝二教授「企業社会論は「リーマン」後、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がった。人が減るなかで多くの働き手が長時間働き、過労とストレスが高まっている」とみている。(牧内昇平)

心の病におびえて働く

「職場にばれたらクビかも」

サラリーマンの心の病が増えているのは、長時間労働やリストラへの不安が、働き手をメンタルヘルス（心の健康）の不調に追い込んでいるためだ。本人によるケアはもちろんで、上司や同僚が周囲の不調のサインを見逃さないことが大事だ。

▼1面参照

介護施設で働く東京都内の40代男性は2年前、うつ病と診断された。前の職場で、上司から毎日「辞めてくれ」と言われ、同僚のミスも自分のせいとされた。疲れているのに眠れず、毎晩酒をあおった。台所で包丁を握って首にあてているのを、妻が泣きながら止めた。1年間の休職をへて今年3月、会社をやめた。4月に介護スタッフとして再就職したが、いままも精神科に月1回通院し、抗うつ薬を飲んでいる。前の職場で上司から吐かれた場面を思い出し、1日に数回、気分が悪くなる。だが、職場では薬は飲めない。「うつ病の薬を飲んでいことが職場にばれたら、クビになるかもしれない。いつもビクビクして働かざる」と語る。

サラリーマンの心の病が増えているのは、バブル終

あなたのストレス度は？

- 非常にたくさんの仕事をしなければならぬ
- 時間内に仕事を処理しきれない
- 一生懸命働かなければならぬ
- かなり注意を集中する必要がある
- 自分の部署内で意見のくい違いがある
- 自分の部署とはうまく合わない



東京医科大「職業性ストレス簡易調査票」から抜粋。中央労働災害防止協会のホームページで自己チェックできる
http://www.jisha.or.jp/web_chk/strs/index.html

済崩壊後の1990年代から指摘する声もある。過去30年ほどの医療保険の利用状況を調べた神戸大学大学院の山岡順太郎研究員は「心の病の受診は90年代後半から増え、最近10年間で倍増した」と語る。「自分の心と体との対話を、毎日心がけています」うつ病を抱えながら、NPO法人で働く千葉県の50代男性は語る。

発症したのは、出版社で働いていた13年前。担当する雑誌や単行本の数が急に増え、毎日3時間ほど残業していた。帰宅後も仕事のイライラがおさまらず、不眠に悩まされた。病院で「抑うつ状態」と診断され、出版社を辞めた。3年間の自宅療養を過ぎ

心臓が増えていることについて、山本晴義・横浜労災病院勤務者メンタルヘルスセンター長は「心の病への理解が広がり、受診の心理的ハードルが低くなった面もある」と分析する。山本センター長によれば、ストレスゼロを目指す、運動や余暇の時間をとくり、ストレスを解消する習慣づくりが大切という。本人が不調に気づかない場合は、上司や同僚が不調のサインを見逃さないことが求められる。（牧内昇平）

7月16日早朝 NHKラジオ朝一番 ビジネス展望

『働き方の多様化とは何か』内橋克人 2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に私には一番すっと入ってくる話になるほどと。

- ◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う
- ◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。「日本ではこれが、ごっちゃにされて 都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバルスタンダードが非正規雇用を増やすことだとの錯覚を日本では植えつけられているが、けっしてそんなことはない」と

と欧米の具体的な事例をひいて言う。

- ◎ 例えば、『オランダモデル』の例示
 同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。均等待遇の上立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班

「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

今 日本で一番求められている地域を元気にする

日本再生への道「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

2013. 8. 25.

By Mutsu Nakanishi

「今 一番素直に自分の頭に入る」社会・経済論として何度か紹介した経済評論家内橋克人氏の論。内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」と趣旨をほぼ同じくする「里山資本主義」の具体的な構築論ならびに着々と推進が進む地域実践例が、この文庫本「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」に記されていたので、ご紹介。

この本では「里山資本主義」の考え方や具体的な実践を「マネー資本主義」と対峙するのでなく、そのサブシステムとして構築推進することで、疲弊・過疎化から地方を再生し、日本経済変革の道が提案されています。

私の一番知りたかった具体的な地域自立自給経済圏の実践例をこの新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」から、整理して紹介。



＜＜ 内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」 ＞＞

「グローバル化」「国際競争力」錦の御旗に大企業・大都市圏を中心とした中央集権的な「市場原理主義・金融マネー資本主義」「強欲資本主義」に警鐘を鳴らし続け、「市場主義から人間主語へ」の転換を求める内橋克人氏。

日本経済が大量生産・大量消費を前提とした量産効果に依存しているという弱点をいち早く指摘すると共に、「改革」が剥き出しの市場原理主義が社会的費用を弱者に転嫁しかねないと、アメリカ流の聖域なき構造改革に厳しく警鐘を鳴らし、「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済圏の創設を提唱する。

この自立自給経済圏とは F (フード) E (エネルギー) C (ケア) をそれぞれの地域で自給する。

食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」にまで発展させて、地域の活性化を実現しようという考え方である。

《内橋克人氏の提案する自立自給経済の創生》

【from Kobe 2012. 1. 1. <http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf> より】

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
 「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう
 もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
 国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

賢さをともなった勇気を持って 頂点同調主義から脱出 市場主義から人間主語へ
 矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生

日本では新政権が発足しても、「アベノミックス」・「TPP」・「原発の推進」など経済対策・東日本大震災復興事業ひとつをとっても 中央集権的一辺倒の方向は相も変わらず、いまだに大企業・中央中心的なアメリカ流の「マネー資本」一辺倒。「実感のある豊かな生活を実現してくれる」との確信を持つ人がどれだけいるだろうか・・・。

これら施策の果実を取り込んだごく一部のを除き、格差は日増しに増大し、地方の疲弊はますます進み、その中身実

態が次々と垣間見えるにつれ、自衛の道を模索しつつも、無責任な楽観主義と社会不安・無力感の間をさまよっている。

一方、特に震災地域の急速な生活復興や地方疲弊の脱却には 地域内での「マネー循環」が欠かせぬと思えるが、ここでも 地域外へのマネー流出を促す中央集権システムが顔を出しているという。

口で言うのはたやすいが、自立自給経済圏の創設の推進は難しい。なんとか 未来へつながる永続的な推進根業モデルが立ち上がらないと、これも絵に描いた餅になると・・・・。

まだ、日本の潮流にはなっていませんが、「マネー資本主義」から脱却した日本再生への新しいアプローチ道 が地方で始まっていることを記した 新書本 藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」を紹介。ご一読を。

2013. 8. 25. From Kobe by Mutsu Nakanishi

新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班
「 里山資本主義 -日本経済は『安心の原理』で動く- 」
内容 要約

1. 「里山主義」 (新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」表紙横帯より)

かつて人間が手を入れてきた休眠資産を再利用することで、原価0円からの経済再生、コミュニティ復活を果たす現象。安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安・不満・不信のスパイラルを超える。危機を超え未来を生む、すり潰されない生き方の提案として登場。

2. 里山主義による地域自立自給経済圏の実践を進める街の紹介

中国山地の山深いたらの郷 岡山県真庭市と広島県庄原市 (西城)

「里山資本主義」というネーミングに惹き付けられましたが、中国山地奥深い過疎地 岡山県真庭市やすぐ隣の広島県庄原市西城での 1. バイオマス発電を中心とした持続的な地域循環システム取組の話や 2. 里山の雑木を燃料にした燃料効率のよい「エコストーブ」が「ストーブ」にとどまらず、原価ゼロの暮らし」のアイデアを次々と生む。電気エネルギー消費の抑制や荒れ果てた農地・農業の再利用など地域自立の道を進める話。

- 真庭市の「バイオマス集積基地化」による地域持続型経済圏の推進
真庭市の製材企業から出る「原価ゼロの資源」木屑を燃料ペレットに変えて、バイオマス発電・家庭燃料など熱燃料としてペレットを使うことにより、「発電」「製材」「ペレットボイラー」「ペレット生産」など地場産業を興す。
現在 真庭市の消費エネルギーの11%が木のエネルギーでまかなわれ、この数値はさらに上昇中
地域の外へ金が流れ出るエネルギー収支が大幅改善し、地域活性化の源になっている。
- 庄原市西城 燃料効率95%を超える家庭用「エコストーブ」の開発による森林エネルギーによる化石エネルギーからの脱却と原価ゼロ資源利用・里山再発見発想の町づくり

「バイオマス発電だけでは成立しないだろう」・「都会からやってきた人たちの気楽な田舎生活・スローライフの取り組みがしゃれた空気を街にふきこみはじめたのか・・・」などと懐疑的な目で読み始めたのですがさにあらず。ペレット燃料の徹底的な活用。雑木数本で燃焼するエコストーブの高性能ぶりには目を見張る。都市から供給されねばどうしようもないと思っていたエネルギーがサブシステムとして自立し増加の道をたどっている。

「原価ゼロの暮らしとして 里山を食い物にしよう」というアピール。
この地の森林・製材から大量に出てくる原価ゼロ円の木屑などの資源をエネルギー資源に変える実践取り組みや、食料資源としての里山など、次々と実践アイデアを生みつつ、それが新たな産業・雇用を生んでゆく。
地域内エネルギー自給をめざす取組を軸に地域自立への道とその仕組みが示されてゆく。
過疎を逆手にとつての豊かな暮らしへ展開して行く取組が、行政も動かし、地域を変えてゆく。
外部に頼らずとも、持続的なシステムが着実に地域の中で育ち、地域を自立経済県に変化させ、街を活性化する。
こんな持続的な地域循環のシステムが過疎地に構築でき、地域を帰られる。それも 誰もが斜陽と思っている森・里山の資源を軸に・・・。外部からの金・産業・インフラを投入せねば地方の過疎化は食い止められぬとの思い込みが一気

に打ち壊され、懐疑的だったのが、吹っ飛んで「こんな継続的なエネルギー地域循環システムができるのだ」と……。

この本では、これらの実践は「世界経済の最先端」だといい、「この中国山地の奥深い過疎に悩む山郷での実践は突発的なものでないという。

江戸時代隆盛を極めたこの中国山地の「たたら製鉄山」では、森・里山の資源を軸とした地域循環型の経済圏が100年以上持続して成立していた」ことを指摘する。そして、自立経済圏構築の継続性には「エネルギーの化石燃料からの転換」そして、「の森・里山のエネルギー資源の活用」に着目した構築がきわめて重要であると説く。

そういえば たたらの里の森林資源ばかりでなく、砂鉄をとるために切り崩した里山の跡地が牧場・棚田となって、鉄山とともに地域経済に寄与していったことなども頭に浮かんでくる。

日本伝統の匠の技術としてしか語られることがなくなった「たたら製鉄」。その仕組みにスポットライトが当てられ、21世紀型の新しい日本再生・「地域循環型自立経済圏」の構築実践モデルとして語られているのがうれしい。

中国山地のたたら郷 真庭市や庄原市（西城） その地域自立型エネルギーシステム構築を軸とした自立経済圏成功体験の底に「たたら製鉄 鉄山」があるという。

3. 海外にもある里山主義による地域自立自給経済圏の国「オーストリア」

オーストリアは日本と同じ急峻な山岳地帯を抱える国ながら、機械化された最先端の林業とペレット燃料を徹底利用したエネルギー政策に取り組む。

中でも国境の町・ギュッシング市では1990年にエネルギーの脱化石化を宣言し、木質バイオマスによる地域冷暖房やコジェネレーション発電によりエネルギー自立を実現させている。

しかし、バイオマス発電・ペレットなどはそもそも 本体の木材利用産業があって、そこからの大量の「原価ゼロ資源の供給」があってこそ成り立つ。

真庭・庄原の例にしても、現状「原価ゼロ資源木屑の供給」には限界があり、更なる広域地域経済圏の構築には「原価ゼロ資源木屑の供給」を可能とする「本体の木材利用」の産業の展開が不可欠。

国を挙げて「バイオマスによるエネルギー自立」を進めるオーストリアでは鉄筋コンクリートの強度に匹敵する建築木材として「集成製材」の利用を推進し、積極的に木造高層建築の推進に取り組む。

直角方向に張り合わせた集成材 CLT（クロス・ラミネイティッド・ティンバー）が無類の強度を発揮し、オーストリアやイギリスでは CLT を利用した 9 階建ての木造高層建築物まで登場しているという。

日本ではセメントが容易に入手できる日本で、今後木材の高層建築物への利用解禁されたとしても 一気に進むかどうかは未知数ではあるが、鉄筋コンクリートに代替できる木材の集成材が登場する時代にもなっている。

《「木質バイオマスでエネルギー自立を実現したオーストリア」の安定な経済 2011 年》

- ・失業率 EU の中で最低の 4.2% ・一人当たりの名目 GDP 49688 ドル（世界 11 位）
- ・対国内投資額 前年比 3.2 倍の 101.6 億ユーロ 対外投資額 前年比 3.8 倍の 219.5 億ユーロ

この安定した経済をささえるのが、里山資本主義。

国を挙げて木材を徹底活用して経済自立することに取組み、その成果が上記の経済安定につながっている。

また、「脱原発」を憲法に記している国でもある。

日本では斜陽とみなされる林業・製材業には大型の先端機械設備などの先端技術が導入され、最新技術が支える先端産業となり、材木関連産業は今や国の重要な輸出産業。都市には木造の高層ビル建設が進み、街には バイオマス発電の電気も併用供給され、家庭には熱効率のよいペレットボイラーがすえつけられ、これらと共に新しい産業と雇用が次々と生まれているという。

- オーストリアの製材メーカー「マイヤーメルンホフ」社では年間 130 立方メートルの木材の供給し、製材・加工からバイオマスまで手がけ、町では熱水パイプラインが通り、年間 6 万トンというペレット工場も持ち、町では ペレットを快適に利用するオートメーションシステムが整っている。
- 「熱効率 90%を超えるペレットボイラー」今ペレットボイラーの普及が急速に進みつつあり、これを軸にバイオマス周辺産業が地場で急速に発展し、多くの雇用も生まれている。
- 森林伐採と永続的森資源の管理

「森林官と森林マイスター制度による徹底した森林保護・伐採の教育と林業実践」により、
 林業は「持続可能な豊かさ」を守る術として バランスの取れた森林の伐採と植林が進む。
 森林はオーストリア有数の外貨の稼ぎ手 木材関連産業で年間 30~40 億ユーロの貿易黒字
 となっている

内陸国オーストリアでは、まだ エネルギー・電力を他国から輸入しているが、上記した木質バイオマスへの国を挙げての取組で、その輸入量も減じる方向にすすみ、「エネルギー自給」目前だという。

4. 里山資本主義に基づく地域循環型経済取組の広がりの紹介

地域の価値に気づき 地域に根ざした活動が違った価値を付け、広がってゆく

売れる秘密は「原料を高く買い 人手をかける」 そんなオンリーワン価値も生まれているという

- 山口県周防大島の地場産業の果樹農業を活かしたジャム園の経営
 自分も地域も利益をあげる街に眠るアイデア・技術の掘り起こしによるオンリーワン化のジャム作り
- 高知県大豊町の真庭モデル導入の試み
 高知県は地域収支を見ると林業は黒字なのに製材業は赤字。そしてエネルギーは圧倒的な赤。
 これを改善する取り組みで地域を掘り起こす。
- 島根県の耕作放棄地を活用した放牧の取組
 食料自給率 39%の日本にひろがる膨大な耕作放棄地 この方基地の活用
 ヨーロッパでは 整然と整備された草場が美しい田舎の景観を作っているのに、日本では雑草生い茂る
 荒地化が進む。この差はなぜか・・・不思議でしたが、牛の放牧が勝手に荒地を草原に替えてくれることを数年前に知りました。 この島根県の取組も遊休地での自然放牧が新しい価値を生む。
- 島根県邑南町の移住女性による「耕すシェフ」レストラン。
 外へ市場を求めず、地域で食す 楽しみが新しい価値を生む
- 鳥取県八頭町のホンモロコの養殖も耕作放棄地を活用した取組
 遊休地に里山にある水を引いて、商品価値のある「ホンモロコ」を育てる。

5. まとめに変えて 地域収支から見える持続自立型経済圏創設への取組

新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」はこの後 下記のような項がつづいている。

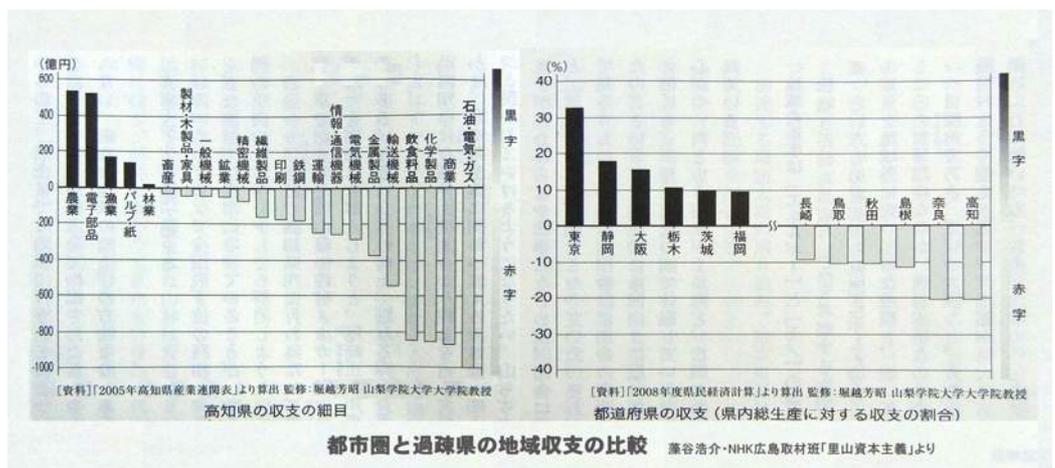
- 里山資本主義の延長戦にある「無縁社会」の克服 取組み
- 「スマートシティ」のシステム構築を検討する最先端プロジェクト
 最先端の取組は里山資本主義の取組と驚くほど一致している
- 結び 里山資本主義の爽やかな風が吹き抜ける、2060 年の日本

私の一番興味があった里山資本主義の実践活動の具体的な紹介もほぼ済んだので、今回はここで私の紹介の終わりにしたい。ご興味のある方は ぜひ 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の本で。

この本に書かれた内容は中央集権的「マネー資本主義」に警鐘を鳴らし続け、日本再生・地方再生の道を「自立経済圏創生」であると説く内橋克人氏の経済論と同根・共通で、力強く地方再生の道を進む地域が具体的に示されている。

右の図は「里山資本主義」の本に掲載されていた都市圏と過疎地の地域収支のグラフ。

都市圏と地方とで、地域収支の差が大きく、しかも 地域自立にはエネルギー・食料の収支改善そして強みとして農業・漁業・林業など地場産業の地域循環型産業



としての新しい取り込み展開視点が必要なことがよく分かる。

これに 今直面している「医療」を加えれば、まさに 内橋勝人氏という食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」に育てる CFE 自給圏の創設そのもの。

今までなにか始めても すぐ国や大企業など中央に飲み込まれてしまいそうで、地方自立の立ち行く道に懐疑的でしたが、具体的な実践取組みが始まり、また、インターネットに書かれている自立取組例の記事を色々読むと地方の行政が、今までの取組とは別に この里山主義の実践取組に気づきはじめ、新しい取組が始まっていることも知りました。

地産・地消さらに地方へ行って 観光・食事そして物産を買う楽しみにも。

ちょっとですが、地域を眺める目が深まりました。

地方が武器を持ち始めて新しい道を展開する。日本の先が明るく見えてくるにうれしい限り。

新しい日本再生の鼓動がそれぞれの特質を生かし、地に足が着いたオープンな取組がいたるところで生まれれば、それが地方分権・地方再生そして東北再生への道へとつながってゆく。

政治家の選挙戦で見る地方分権論とは違う草の根地方分権論でもあると。

また、私の知る山深いたたらりの里の取組みが紹介され、それもこの里山主義が示す地域自立型経済圏として、たたら製鉄の遺産が紹介されていたのにもうれしくなりました。

そんな新書 また、私の好きな内橋勝人氏の経済論に実践の道がついているのもうれしい。ぜひ一読を。

2013. 8. 25. from Kobe by Mutsu Nakanishi



中国山地 たたら製鉄 鉄穴流しが作った棚田の景観 右の写真は牛が放牧された休耕田

【参考】

1. From Kobe 2012. 1. 1. 内橋克人氏 100年インタビュー抜粋

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう
もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf>

2. From Kobe 2013年8月 あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮 創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ今一番自分にずっと入る

NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説を紹介

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf>

最近の政治・経済界は 弱者に目を向けるなど微塵もなし。数を頼んだ自分たちの集団を強くすることに狂奔していると映る。彼らはいったい「どこを 何を」見ているのだろうか・・・

社会のあちこちで今ほど「命を守る」の声が切実に、語られている時はない。今スピードを緩めねばならぬときに、そのほころびに蓋をして、さらにその変革に血道をあげる。

そんな世のリーダーたち・政治家や財界人の満面の笑みには腹が立つ。時代の勝利者にのみスポットライトがあたり、「明日はわが身」を省みず、それに迎合する。そんな姿を見せるリーダーたちが、みんなわれわれと同じ老齢にさしかかった人達。我々の代表が彼らなのだ気がついて 啞然とする。

潜在していた日本のほころびが今 すごいスピードで顕著に見え始めている。

それを止めての修復は今しかない。世のリーダーたちよ 「明日の世代へ 命を守る 」そんな政治・経済活動をしてほしい。

技術屋は 中身を極めるとき 答(結論に達したとき)が出るたびに「その中には何がある」→「その中には何がある」→「その中には何がある」と Roots を探り、根幹に迫る

三度にわたる深みある Roots 検討で 見えていなかった本当の核心に迫れると教えられたものである。

世のリーダーたちよ 今一度「命を守る」をキーワードに 自分の言葉で中身を具体的に話してほしいもの 敗者・年寄りの論理のようにみえて 女々しく映るかもしれませんが、

まったく時代の先を見る眼を持たぬ姿に、早くバトンを若者に渡せとしかいえないのが、わびしい。

2013. 10. 5. 天声人語「解雇できる特区」を読んで

By Mutsu Nakanishi

参考1 昨年10月に全国を対象に実施された『今、日本人はどのような環境で働いているのか』調査ではパート・派遣などの非正規で働く人の数が、2043万人と、初めて2000万人を突破し、雇用全体に占める割合も38.2%、つまりほぼ4割程度に達していると聴く。

- ◎ 20年前に比べると、非正規で働く人の数は、ほぼ2倍にまで増えている。
- ◎ 正社員だった人が転職するとその内40%以上が非正規で働かざるを得なくなっている。
- ◎ 25歳～34歳の若者層では、3人に1人以上の人が非正社員である。

高校や大学を卒業する時の厳しい就職環境を引きずったまま、働き続けざるを得ない。

こんな状況で雇用不安を感じない人たちって・・・どんなグループだろうか・・・

政党公約だった非正規雇用をなくす方向は今やどこかで消えてしまっている。これもだまし絵だったのか・・・

7月16日 朝朝 NHKラジオ聴一番 ビジネス展望

『働き方の多様化とは何か』内橋克人 2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に
私には一番ずっと入ってくる話になるほどと、

- ◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化「働き方の多様化」と「働き方の多様化」は違う
- ◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。「日本ではこれが、こっぴどく使われて、都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバルスタンダードが非正規雇用を増やすことだとの錯覚を日本では植えつけられている。けっしてそんなことはない」と

と欧米の具体的な事例をひいて言う。

- ◎ 例えば、『オランダモデル』の例示
同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り、均等待遇の上立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

心の病におびえて働く

「職場にばれたらクビかも」

「バネ」の心の病に悩んでいる。2013年、精神科受診者数は前年比10%増の100万人を超えた。心の病に悩む人は、決して少なくない。その中でも、職場にばれたらクビかもと、不安に悩んでいる人は、決して少なくない。その中でも、職場にばれたらクビかもと、不安に悩んでいる人は、決して少なくない。

あなたのストレス度は？

- 非常にたぐひのない
- 比較的たぐひのない
- 普通
- かなりたぐひのない
- かなりたぐひがある
- 非常にたぐひがある

自分の職場内で、自分のストレスを軽減する必要がある。自分のストレスを軽減する必要がある。自分のストレスを軽減する必要がある。

【参考 From Kobe by Mutsu Nakanishi より】

1. 新書藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf>
2. 「NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説
<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf>

みんな笑顔で暮らせる社会への変革を 若者たちのエネルギーに託したい
でも ぼやいてばかりはられない 70歳 まだまだ早い せくな 老楽 これからよ
お付き合いいただいてありがとうございます 引き続きよろしく申し上げます

丹後のばら寿司 古希の祝いで

この12月に70歳を迎えて 孫や家族が祝いの席を設けてくれて、こんなことができました。

2013.12.12. From Kobe by Mutsu Nakanishi



この12月に70歳になり、孫たち家族と一緒に70を祝ってくれた。

老人手帳のほか市バスや地下鉄の高齢者優待パスが送られてきて、自動車免許の更新には高齢者講習。

「好奇心と行動力さえ 失わなければ いつまでも若者」との思いはあるが、

高齢者講習でひたひたと忍び寄る老齢化の波を思い知る。でも健康でいれば まあ ええかと……。

祝いの席でふと壁をみると下記 長寿の心得が 掲げられていて 元気が出る。

「人生は山坂多い旅の道 古希 70歳でお迎えが来た時には まだまだ早いと言へ

喜寿 77歳でお迎えが来た時には せくな老楽 これからよと言へ」

カニの季節 蟹が食べたいという私に、神戸の北三田にある店「猿蟹合戦」で 2013.12.8.

予備知識もなく出かけた店 それがなんと オーナ・料理人

みんな親父の故郷 丹後の方で、カニは本場のズワイガニ。

うれしくなって「うまい うまい」と。

帰りに持ち帰り土産に持たせてくれたのが「丹後のばら寿司」

甘辛くそぼろに煮詰めた鯖の身を二段に敷き詰め、その上に
彩りよくかまぼこや錦糸卵やエンドウ紅しょうがなどを飾り付けた

「丹後の晴れの日に作られるばら寿司」。

こどもの頃 丹後へ行くと いつも帰りに持たせてもらった田舎丹後

の味。よく母がつくってくれたおふくろの味でもある。

もう長年記憶の奥深くに忘れていた丹後のばら寿司。

持ち帰って開くと 懐かしい姿 一口食べると「この味や」と。家内と二人 むかしを語り合いながら食べた絶品の味。

家族みんなの祝いの席に思いもかけず登場した田舎そして父母を思い出させてくれた丹後のばら寿司。

岡山の祭りすしや山口の岩国すしほど有名ではありませんが、私にとってはうれしい絶品の味。

だれしも もう記憶の奥深くに しまいこまれた それぞれの味・一品があるのだろうと。

まだまだ早い せくな老楽 これからよ

お互い 好奇心・行動力さえあれば まだまだ、これから。無理せず 元気に前向いと

本当にうれしい一日になりました。





古希の祝い 2013.12.8.丹波の力二科堀三田市「療養会館」で



***** あっという間の一年 古希を迎えて *****

あっという間の一年 今年古希の歳に。

自分では 素晴らしい時代に生きてきたと思っているのですが、ここ数年の政治・経済の動きにはついてゆけず。

何の反省も知恵も学びもなく、外見を装いながら、都合よく価値観を変化させる今の政治・経済界。

「スピードと効率化」・「集中と選択」が国際化の原動力と過信して、全体社会を見据えているとはとても思えず。

過酷な競争社会が出現する中、口では地方振興・平等な利益配分を唱えながら、その実 加速度的に中央集権・大企業・東京中心の運営を猛進しているとしか私には見えない。

昨年も まったくおなじだったのではないかとこの時期 何を書いていたか読み返してみると

山口の高校生たちが検討した『『榎山節考』と『掟』の意味』の記事について紹介し、

「掟」には 社会が共有してせねばならぬ生き抜く道として「心くばり」があると紹介している。

オリンピック招致に「おもてなし」を説いた人たちには その底にある「心配り」が微塵も見られない・・・

あれだけ「東日本大震災からの復興」を唱えながら、「東京再開」の経済効果論の大合唱 地方は益々見捨てられてゆく。

多数派に名を借りた陰惨な所業が平然と

正当化される不安感と閉塞感たどよう社会がひそかに進行している。

言葉にまったく誠意が感じられず、知恵も行動の深さもなく、ただ棒読みの「掟破り」。

何の思慮も配慮もなく数だけが自らの正義といわんばかりの政治。自民党を大多数にした責任が重くのしかかっている。

暴虐無人 村社会的な振る舞いの政治には 歯止めのかからぬ「掟破りの社会」の怖さが潜んでいると。

老いぼれてぼけてしまったのか・・・

社会が異常なのか・・・

風来坊を決め込むわけに行かず、孫たちの時代の行く末を案じている。

今年もまた、同じことをぶつづつ進歩のなさを詫びつつ 自戒の騙し絵も。

「大多数の人が 弱肉強食の過度な競争に晒される社会は もう ゴメン。みんな笑顔で暮らせる社会への変革を 」。

「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり 自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵

「真実も正義も その立つ位置がかわれば、変わるのだ。絶対の真実や正義などありえないのだ」と傲慢に言い放ち、
 豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら 立つ位置 初めにみんなにみせろ」と言ってみるのですが…… 実に印象的でした。

最近の世相をみていると どこもかしこも こんな構図がひしめいているのではないかと……と。

立つ位置をあいまいにして、変わり身の早さを信条に「選択と集中 スピード経営」を旗印の即物的な収益・マネーゲームに終始するビジネスモデルが主流の昨今 本当にこれでやっていけるのだろうか……と。

「急激に大きくなった会社はやっぱり 急激に衰える。その点 百年企業は急激な収益増は出さないが、もし、衰えるとしても百年かかる。そんな会社にはスピードを追わぬしっかりした百年理念が流れている どちらのビジネスモデルにしがみつくか 企業の度量が問われる 」とよく聞いたことがある。

その時には、「負け惜しみの美学か……」などと自嘲気味になっていましたが、
 その後の時代の流れが、真実を証明しているかに見える。

そんな時代 自戒の絵として、下に示す「騙し絵」をよく「某半導体メーカーの若い技術屋と見ていたなあ……」と。

この絵 どう見えるでしょうか・・・
 おばあさん?? それとも 美しい娘さん??

「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり 自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵

自分には 娘さんに見えるのに 相手は婆さんと見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあることをよく頭に刻んでおかねばならぬ。

真実を見間違え認識のズレ これを知っていて操るやからが多くなっている昨今
 以前にもまして じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代 自分の立つ位置をしっかりとせねば……と思う。

2012年4月 from Kobe より

かつて「榎山まいり」の境遇に置かれた人達と同じ歳になった今、本当に恵まれた境遇に感謝せねばならぬが、
 団塊の世代では もう これからの時代を乗り切つてゆけぬ変革は若者たちの手で。
 そんな思いを若者のフレッシュな頭に託したい。

【 2013年 From Kobe 一 覧 】

Stay Young Day !! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切つて行きましょう

苦難に立ち向かつておられる東北の人たちにもいつも 思いをはせています。

忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 困難の中に居られる方々を 応援しよう!!

《 あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉 》

◆ フィルド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る

◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止 そして(対策突破の)歯止め

ニーバーの祈り「勇氣・冷静・知恵」

変えられるものを 変える勇氣と

変えられないものを 受け容れる心の静けさと

両者を見分ける叡智を

一は 一日一回 じっくり考える、
 十は 十日十回 腹から笑う、
 百は 日百回 深呼吸、
 千は 日千字 書く、
 万は 日万歩 歩く

なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
 確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。

「でも 今 それがひようでは???'と ついついやってしまう。心せねばと思っています。

本年 一年お付き合いいただいて ありがとうございます 引き続きよろしくお願ひします

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に 《 21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形》	fkobe1301.pdf
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5. 停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅	fkobe1303.pdf
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です	fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月】 2013.年5月 新緑の季節便り 1.春景色 From Kobe 2.屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める	fkobe1305.pdf
5. From Kobe 2013年7月 2013.年7月 久しぶりの東京 これ以上過密の東京に投資していいのだろうか・・・とも	fkobe1307.pdf
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」 「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介 言葉とはうらはら 創造性の欠如した今の時代 異常気象にだまし絵をダブらせて 今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」を紹介	fkobe1308.pdf
7. From Kobe 2013年9月 藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介 今日本で一番求められている地域を元気にする 里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践	fkobe1309.pdf fkobe1310.pdf
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5「解雇のできる特区」の記事を読んで 「天声人語」氏の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり	
9. From Kobe 2013年12月 師走 あつというまの1年 古希を迎えて	fkobe1312.pdf